

町長への大会報告会と体育施設清掃活動  
**カノア福岡が感謝の清掃活動**

女子バレーボールのKANOA福岡が12月19日に、黒土町長に天皇杯皇后杯大会の報告会と金田体育センターの清掃活動を行いました。「来年は良い報告を必ずできるよう頑張ります」と抱負を述べた後、感謝を含めて約2時間、モップ掛けや窓拭きなど丁寧に体育館を清掃。清掃後の練習では、来季に向け気合の入った声が響きました。



↑こびりついた汚れも鍛えられたパワーできれいになった金田体育センター。

↓庚申窯と昇龍窯が一つひとつ丁寧に教え、子どもたちも真剣な表情で没頭。



伝統文化子ども体験フェスタ in ふくおか  
**四百年の歴史「上野焼」のろくろ体験**

伝統文化親子体験 in ふくおか実行委員会主催の「伝統文化子ども体験フェスタ」が1月29日にギャラリー陶で行われ、上野焼に触れる「ろくろ体験」をしました。町内外の小・中学生13組18人が参加し、初めて触れる土や繊細なタッチに大苦戦。お茶碗や湯飲みなど形が完成すると、子どもたちから笑顔がこぼれました。

どんど焼き  
**歳神様お炊き上げで払ったコロナの邪気**

金田稻荷神社で、役目を終えた正月飾りや昨年のお守りなどを焼いて見送る「どんど焼き」が1月16日に行われました。境内の本堂前に参加者たちが持参したしめ飾りや門松が集められ、阿部重信宮司が祝詞を奉納しながらお炊き上げ。地域住民は、健康に良いとされる煙を浴びながら新年の平穏を祈っていました。



↑勢いよく燃えさかるやぐらを囲みながら、今年1年間の邪気を払いました。

↓感染症対策を徹底して開かれているひな人形の展示は3月14日(日)まで。



豊徳会すみれ館「ひな祭り」  
**豪絢爛豪のひな人形展示で紡ぐ人の輪**

豊徳会「すみれ館」(赤池)は、地域のかたから提供されたひな人形13セットを一堂に飾る「ひな祭り」を2月14日から開始しました。「交流が希薄になりがちな今だからこそ人が集える機会を作りたい」と企画されたこの展示会。来場者たちは、長引くコロナ禍でふさぎ込みがちな心も癒されると目を細めていました。

↓アクロス福岡や北九州空港内のJALグループのお土産店でも販売され、バレンタインを盛り上げました。



第15回 上野焼バレンタイン猪口展  
**遊び心あふれたお猪口を販売**

「チョコ」と「猪口」をかけた「上野焼バレンタイン猪口展」が2月1日から14日まで上野焼陶芸館で開催されました。定番のハート型や干支・寅を表現したお猪口など約500点が並び、昨年引き続き「ものづくりラボ」が作製した木箱もセットになった限定販売も実施。遊び心にあふれた一味違う贈り物を購入しようと、町内外から多くの方が詰めかけました。

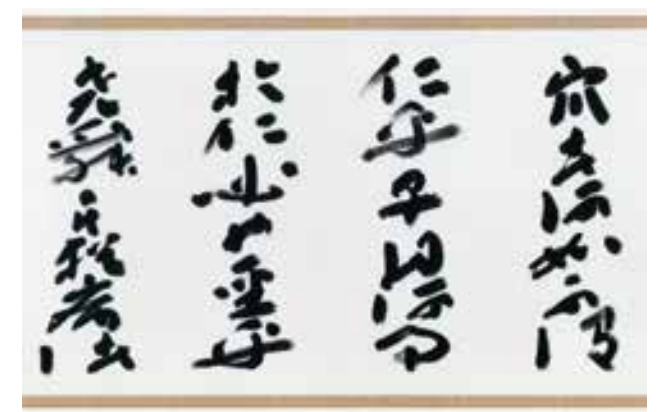
毎日新聞「はがき随筆」月間賞  
**将来の夢込めた鶴我さんが月間賞を受賞**

毎日新聞の筑豊面「はがき随筆」の1月度月間賞に、赤池中3年の鶴我悠菜さんが書いた「私の将来の夢」が選ばれました。鶴我さんは高校受験のまっただ中、通っている英語教室の先生の勧めで小論文の練習を兼ねて投稿。「将来の夢を明確に表わし、はたから見ても応援したくなる、希望に満ちた作品」と高評を集めました。



↑海外に拠点を持つ日本の航空会社の整備士になる夢を表現した鶴我さん。

↓8518点の応募から選ばれた作品「仁を問う」の卷子(360cm×30cm)の一部分。



第8回 日本美術展覧会  
**伝統的な芸術が集う「日展」で3人が入選**

百年を越える歴史を持ち、日本美術の粋が展覧される美術展「第8回日展」で福智町から3人の作品が入選しました。応募総数11173点の中から書科で東彩雲さん(赤池)の「仁を問う」が、工芸美術科で上野焼の世良彰彦さん(八幡窯)の「流韻「爽」と高麗享一さん(庚申窯)の「龍雲」が卓越した技術と感性で好評を博しました。